

北海道アレルギー疾患対策 令和6年度の取組について

1 道のアレルギー疾患対策における施策の方向性と主な施策（北海道医療計画抜粋）

<医療提供体制の確保>

✓ 医療提供体制等の確保

拠点病院及び地域協力病院と、日々のアレルギー疾患診療を提供している診療所（歯科診療所を含む。）や一般病院、薬局間の診療連携体制の充実に努めます。

✓ ガイドラインの更なる普及

身近な医療機関において標準的な診療を受けられるよう、国や学会等と連携を図りながらガイドラインの更なる普及に努めます。

<情報提供・相談体制の確保>

✓ アレルギー疾患に係る情報提供

国や学会等から最新の情報を収集した上で、市町村等と連携し、地域住民が必要とする情報を分かりやすく提供します。

✓ 適切な自己管理に関する情報提供

国や拠点病院、関係団体と連携し、ガイドラインに基づく医療機関の適切な患者指導を推進とともに、患者に対し、自己管理方法が分かりやすく情報提供されるよう働きかけます。
患者やその家族に対する定期的な講習会や地域住民に対する啓発活動等を実施します。

✓ 相談体制の充実

厚生労働省主催の相談員養成研修会等に道立保健所職員を派遣するなど、相談対応に関する資質の向上を図ります。相談内容に応じて、専門医療機関を紹介するなど、住民のニーズにあった相談対応に努めます。

拠点病院は、学校や児童福祉施設等が抱えるアレルギー疾患に関する諸問題に対して、市町村の教育委員会や市町村関係部局に対し医学的見地からの助言・支援を行います。

2 令和6年度の取組について

<医療提供体制の確保>

◇ 北海道アレルギー診療拠点病院（1か所）・地域協力病院（10か所）：変更なし

（診療拠点病院） 北海道大学病院

（地域協力病院） 市立函館病院、札幌医科大学附属病院、KKR 札幌医療センター

JCHO 北海道病院、旭川医科大学病院、旭川赤十字病院、市立旭川病院

北見赤十字病院、帯広厚生病院、市立釧路総合病院

<情報提供・相談体制の確保>

◇ 北海道アレルギーセミナーの開催

- ・ 日時：令和7年（2025年）3月7日（金）18:30～

- ・ 内容：災害時のアレルギー対応について

　　講師：手稻渓仁会病院 小児科主任医長 及川 純子先生

　　アトピー性皮膚炎のスキンケアと薬物療法

　　講師：北海道大学大学院 医学研究院 皮膚科学教室教授 氏家 英之先生

- ・ 対象：道内アレルギー疾患に関わる医療関係者（医療機関・市町村等）

- ・ 参加：計82名（申込114名）　薬剤師、看護師、保健師、栄養士等

- ・ 評価等：医療従事者への情報発信の機会が少ないとともに、診療ガイドラインの基本的な考え方の理解を深めるとともに、住民相談対応等の基本的事項の確認の機会となった。

◇ 国立保健医療科学院主催の疾患対策従事者研修への派遣

道立保健所（保健師）を派遣 1名（累計11名（web研修受講者除く））